



American  
Heart  
Association.

## 心臓病と脳卒中に関する統計アップデート 2026 年版ファクトシート 米国の女性と心血管疾患

### 心血管疾患 (CVD) (ICD-10 I00~I99)

- 2021 年から 2023 年の期間に、心血管疾患（心臓や血管の病気）のある人は、20 歳以上の女性では 6,190 万人（全女性の 44.1 %），男性では 6,870 万人（全男性の 53.7 %）でした。
- 2021 年から 2023 年の期間には、20 歳以上の女性のうち、心血管疾患のある人の割合は、黒人女性で 59.5 %，白人女性で 43.5 %，アジア系女性で 40.7 %，ヒスパニック系女性で 38.6 %でした。
- 2023 年には、心血管疾患により全年齢層で 433,254 人の女性が亡くなっています。これは、心血管疾患による死亡の 47.3 %にあたります。
- 2023 年の心血管疾患を死因とする年齢調整死亡率（年齢構成の違いを考慮して調整した死亡率）は、女性では 10 万人当たり 180.2 人、男性では 10 万人当たり 263.0 人でした。
- 2022 年に心臓や大きな血管の手術を受けた女性は 3,335 人で、男性（4,600 人）より少ない人数でした。また、経皮的冠動脈インターベンション（心臓の血管を広げる治療）を受けた女性は 140,835 人で、男性（295,040 人）より少ないという結果になりました。

### 冠動脈性心疾患 (CHD) (ICD-10 I20~I25 [心筋梗塞 (MI) : ICD-10 I21~I22 を含む] )

- 2021 年から 2023 年のデータによると、冠動脈性心疾患（心臓の血管の病気）のある人は、20 歳以上の女性では 600 万人（3.7 %），男性では 990 万人（6.9 %）でした。冠動脈性心疾患の有病率（ある時点で病気をもっている人の割合）は、すべての年齢層で、女性より男性のほうが高いという結果になりました。
- 2021 年から 2023 年のデータによると、20 歳以上の女性のうち、冠動脈性心疾患のある人の割合は、白人女性で 4.1 %，ヒスパニック系女性で 3.2 %，アジア系女性で 3.1 %，黒人女性で 2.8 %でした。
- 2021 年から 2023 年のデータによると、過去に心筋梗塞（心臓の血管がつまつて起こる病気）になったことのある人は、20 歳以上の女性では 280 万人（1.6 %），男性では 570 万人（3.8 %）でした。心筋梗塞の有病率は、すべての年齢層で、女性より男性のほうが高いという結果になりました。
- 2021 年から 2023 年のデータによると、20 歳以上の女性のうち、過去に心筋梗塞になったことがある人の割合は、黒人女性で 2.2 %，白人女性で 1.5 %，ヒスパニック系女性で 1.5 %，アジア系女性で 1.5 %でした。
- 2005 年から 2014 年のデータに基づき、初めて心筋梗塞になったときの年齢を平均すると、女性は 72.0 歳、男性は 65.6 歳でした。
- 2023 年に冠動脈性心疾患により亡くなった女性は 137,252 人（冠動脈性心疾患による全死亡者の 39.3 %），心筋梗塞により亡くなった女性は 36,916 人（心筋梗塞による全死亡者の 39.5 %）でした。
- 2023 年の冠動脈性心疾患を死因とする年齢調整死亡率は、女性では 10 万人当たり 56.8 人、男性では 10 万人当たり 113.5 人でした。
- 2023 年の心筋梗塞を死因とする年齢調整死亡率は、女性では 10 万人当たり 15.4 人、男性では 10 万人当たり 29.5 人でした。

特に記載のない限り、本ファクトシートに記載されているすべての統計は米国に関するものです。報告されている統計の参考文献および追加情報については、完全版の統計アップデートを参照してください。

©2026 American Heart Association, Inc. All rights reserved. 許可なく使用することは禁止されています。

## 米国の女性と心血管疾患（CVD）—統計アップデート 2026 年版ファクトシート

### 脳卒中（ICD-10：I60～I69）

- 2021 年から 2023 年のデータによると、脳卒中（脳の血管に急なトラブルが起こる病気）を起こしたことがある人は、20 歳以上の女性では 430 万人（全女性の 2.6 %），男性では 470 万人（全男性の 3.3 %）でした。
- 2021 年から 2023 年のデータによると、20 歳以上の女性のうち、過去に脳卒中を起こしたことがある人の割合は、黒人女性で 4.7 %，ヒスパニック系女性で 3.8 %，白人女性で 2.1 %，アジア系女性で 0.7 %でした。
- 2023 年には、脳卒中により 91,719 人の女性が亡くなっています（脳卒中による全死亡者数の 56.4 %）。
- 2023 年の脳卒中を死因とする年齢調整死亡率は、女性では 10 万人当たり 38.1 人，男性では 10 万人当たり 39.3 人でした。

### 高血圧（HBP）（ICD-10 I10～I15）

- 2021 年から 2023 年の期間には、20 歳以上の女性のうち、6,030 万人（女性の 42.9 %）が高血圧（血管の中を流れる血液の圧力が高い状態が続く病気）でした。
- 2021 年から 2023 年の期間には、20 歳以上の女性のうち、黒人女性の 59.2 %，白人女性の 42.2 %，アジア系女性の 39.5 %，ヒスパニック系女性の 37.3 % が高血圧でした。
- 2021 年から 2023 年の期間では、74 歳までは、女性より男性のほうが高血圧の人の割合が高くなっています。75 歳以上では、男性より女性のほうが高血圧の人の割合が高くなっていました。
- 2021 年から 2023 年の期間に高血圧であった女性のうち、血圧がコントロールされていた（血圧が基準の範囲におさまっていた）人の割合は、アジア系女性で 29.7 %，黒人女性で 26.1 %，白人女性で 24.4 %，ヒスパニック系女性で 23.5 %でした。
- 2023 年には、高血圧により全年齢層で 68,015 人の女性が亡くなっています（高血圧による死亡の 51.2 %）。
- 2023 年の高血圧を死因とする年齢調整死亡率は、女性では 10 万人当たり 28.3 人，男性では 10 万人当たり 35.5 人でした。

### 突然の心停止（SCA）（ICD-10 I46.0, I46.1, I46.9, I49.0）

- 2023 年に突然の心停止（心臓が急に止まり血液を全身に送れなくなる病気）が原因で亡くなった女性は、8,052 人でした（突然の心停止による死亡の 44.4 %）。
- 2023 年の突然の心停止を死因とする年齢調整死亡率は、女性では 10 万人当たり 3.4 人，男性では 10 万人当たり 5.3 人でした。
- 2023 年に死亡診断書に「突然の心停止」と記載された女性の死亡者は、177,950 人でした（突然の心停止と記載された死亡の 46.8 %）。
- 2023 年、突然の心停止の記載のある年齢調整死亡率は、女性では 10 万人当たり 75.3 人，男性では 10 万人当たり 107.9 人でした。

### 心不全（HF）（ICD-10 I50）

- 2021 年から 2023 年のデータによると、20 歳以上の女性のうち、340 万人（女性の 2.1 %）が心不全（心臓が体に必要な量の血液を送り出せなくなる状態）でした。
- 2021 年から 2023 年の期間には、20 歳以上の女性のうち、黒人女性の 3.5 %，ヒスパニック系女性の 2.2 %，白人女性の 1.9 %，アジア人女性の 0.9 % が心不全でした。

特に記載のない限り、本ファクトシートに記載されているすべての統計は米国に関するものです。報告されている統計の参考文献および追加情報については、完全版の統計アップデートを参照してください。

©2026 American Heart Association, Inc. All rights reserved. 許可なく使用することは禁止されています。

## 米国の女性と心血管疾患（CVD）—統計アップデート 2026 年版ファクトシート

- 2023 年に心不全が原因で亡くなった女性は 46,694 人でした（心不全による死亡の 52.0 %）。
- 2023 年の心不全を死因とする年齢調整死亡率は、女性では 10 万人当たり 19.1 人、男性では 10 万人当たり 24.6 人でした。
- 2023 年に死亡診断書に「心不全」と記載された女性の死亡者は 206,492 人でした（心不全と記載された死亡の 49.5 %）。
- 2023 年、心不全の記載のある年齢調整死亡率は、女性では 10 万人当たり 84.9 人、男性では 10 万人当たり 118.6 人でした。

### たばこやニコチンの使用とばく露（たばこを吸ったり、煙や蒸気を吸ったりすること）

- 2022 年のデータによると、12~17 歳の人のうち、過去にたばこ製品を使ったことがある人の割合は、女性で 8.4%、男性で 8.9 %と、女性のほうが低くなっていました。また、18 歳以上の成人でも、過去にたばこ製品を使ったことがある人の割合は、女性で 54.5 %、男性で 69.9 %と、女性のほうが低くなっていました。
- 2021 年には、18 歳以上の成人のうち、現在たばこを吸っている人の割合は女性で 10.1 %、男性で 13.1 %でした。ここでいう「現在吸っている」とは、毎日またはときどきたばこを吸っていることを指します。
- 2024 年のデータでは、若い世代で最もよく使われているたばこ製品は電子たばこでした。現在電子たばこを使っている人の割合は、女子高校生で 7.7 %、男子高校生で 7.8 %でした。

### 高コレステロール血症およびその他の脂質異常（血液の中のコレステロールや脂肪が多い状態）

- 2021 年から 2023 年のデータによると、6~11 歳の子どもの総コレステロール値の平均値は 158.3 mg/dL で、男子は 159.2 mg/dL、女子は 157.4 mg/dL でした。
- 2021 年から 2023 年のデータでは、12~19 歳の若者の総コレステロール値の平均値は 154.8 mg/dL で、男子は 151.9 mg/dL、女子は 157.9 mg/dL でした。
- 2021 年から 2023 年の期間には、20 歳以上の成人のうち、
  - 総コレステロール値が 200 mg/dL 以上の人には、男性で 35.0 %、女性で 37.1 %でした。
  - 総コレステロール値が 240 mg/dL 以上の人には、男性で 11.1 %、女性で 11.3 %でした。
  - 高比重リポタンパク質コレステロール（HDL コレステロール、いわゆる善玉コレステロール）が 40 mg/dL 未満の人は、男性で 21.7 %、女性で 6.8 %でした。
- 2017 年から 2020 年の期間には、20 歳以上の成人のうち、
  - 低比重リポタンパク質コレステロール（LDL コレステロール、いわゆる悪玉コレステロール）が 130 mg/dL 以上の人には、男性で 25.6 %、女性で 25.4 %でした。

### 運動

- 2022 年と 2023 年のデータによると、0~17 歳の子どものうち、ほとんどの平日に、テレビ、コンピュータ、携帯電話などの電子機器の前で 1 日 4 時間以上、番組を見る、ゲームをする、インターネットを使う、またはソーシャルメディアを使って過ごしていた人の割合は、21.5 %でした（学校の勉強での使用時間を除く）。男女別でみると、男子で 22.2 %、女子で 20.9 %でした。
- 2022 年と 2023 年のデータによると、6~17 歳の子どものうち、1 週間の毎日、1 日 60 分以上運動していた人の割合は、男子で 22.6 %、女子で 16.2 %でした。
- 2021 年から 2023 年の期間には、12~17 歳のティーンエイジャーのうち、1 週間のほとんどの日、または毎日、筋力トレーニングを行っていた人の割合は、男子で 44.4 %、女子で 26.7 %でした。

特に記載のない限り、本ファクトシートに記載されているすべての統計は米国に関するものです。報告されている統計の参考文献および追加情報については、完全版の統計アップデートを参照してください。

©2026 American Heart Association, Inc. All rights reserved. 許可なく使用することは禁止されています。

# 米国の女性と心血管疾患（CVD）—統計アップデート 2026 年版ファクトシート

## 過体重および肥満

2021 年から 2023 年のデータによると、

- 2~19 歳の子どもおよび青少年では、女子の 19.1 %、男子の 23.0 %が肥満でした。
- 20 歳以上の成人では、女性の 41.4 %、男性の 39.3 %が肥満でした（年齢構成の違いを考慮して調整した有病率）。

## 糖尿病（ICD-10 E10~E14）

- 2021 年から 2023 年のデータによると、医師に糖尿病（血液中の糖の量〔血糖値〕が高い状態が続く病気）と診断された米国の成人 2,950 万人のうち、女性は 1,450 万人でした（全女性の 10.0 %）。糖尿病と診断された人の割合は、黒人女性で 16.7 %、ヒスパニック系女性で 14.3 %、アジア系女性で 8.9 %、白人女性で 7.9 %でした。
- 2021 年から 2023 年のデータによると、未診断糖尿病（糖尿病の基準を満たすが、まだ医師に診断されていない状態）のアメリカ人 960 万人のうち、女性は 420 万人でした（全女性の 2.9 %）。未診断糖尿病の人の割合は、黒人女性で 5.3 %、ヒスパニック系女性で 4.1 %、アジア系女性で 4.0 %、白人女性で 1.9 %でした。
- 2021 年から 2023 年のデータによると、前糖尿病（血糖値が正常範囲より高いが、まだ糖尿病と診断されるほどではない状態）のアメリカ人 9,600 万人のうち、女性は 4,240 万人でした（全女性の 31.7 %）。前糖尿病の人の割合は、黒人女性で 35.0 %、ヒスパニック系女性で 32.2 %、アジア系女性で 30.4 %、白人女性で 23.1 %でした。
- 2023 年には、糖尿病により 40,525 人の女性が亡くなっています（糖尿病による全死者数の 42.6 %）。
- 2023 年の糖尿病を死因とする年齢調整死亡率は、女性では 10 万人当たり 17.3 人、男性では 10 万人当たり 28.4 人でした。

ファクトシート（事実をまとめた資料）、インフォグラフィック（図やイラストで説明した資料）、および最新／過去の統計アップデート出版物は、次の場所からダウンロードできます。[心臓病と脳卒中に関する統計 | アメリカ心臓協会](#)（英語のウェブサイト）。

このファクトシートに掲載されている統計の多くは、統計アップデート文書のために編纂された、未公表の集計データによるものです。これらの統計は、以下に示す文献引用表記を使用して、引用することができます。集計に使われたデータの出典は、完全版のファクトシートに一覧として掲載されています。また、一部の統計は、すでに公表された研究からのものです。このファクトシートにある統計を引用する場合は、完全版の「心臓病と脳卒中に関する統計」文書を確認し、データの出典と元の引用文献を確認してください。

アメリカ心臓協会は、完全版の文書の引用時に次の記載を含めることを要求します。

Palaniappan LP, Allen NB, Almarzooq ZI, Anderson CAM, Arora P, Avery CL, Baker-Smith CM, Bansal N, Currie ME, Earlie RS, Fan W, Fetterman JL, Barone Gibbs B, Heard DG, Hiremath S, Hong H, Hyacinth HI, Ibeh C, Jiang T, Johansen MC, Kazi DS, Ko D, Kwan TW, Leppert MH, Li Y, Magnani JW, Martin KA, Martin SS, Michos ED, Mussolini ME, Ogungbe O, Parikh NI, Perez MV, Perman SM, Sarraju A, Shah NS, Springer MV, St-Onge M-P, Thacker EL, Tierney S, Urbut SM, Van Spall HGC, Voeks JH, Whelton SP, Wong SS, Zhao J, Khan SS; on behalf of the American Heart Association Council on Epidemiology and Prevention Statistics Committee and Stroke Statistics Committee. 2026 Heart disease and stroke statistics: a report of US and global data from the American Heart Association. *Circulation*. Published online January 21, 2026.

メディアからのお問い合わせは、すべて News Media Relations <http://newsroom.heart.org/newsmedia/contacts>（英語のウェブサイト）にお願いいたします。

特に記載のない限り、本ファクトシートに記載されているすべての統計は米国に関するものです。報告されている統計の参考文献および追加情報については、完全版の統計アップデートを参照してください。

©2026 American Heart Association, Inc. All rights reserved. 許可なく使用することは禁止されています。